

すぎなっ子



令和 3年度 11号
 2月4日(金) 発行
 文責 中野島小学校長

新年がはじまり、早一ヶ月が過ぎようとしています。本年度もあと二ヶ月となり、最後のまとめと来年度に向けた準備をしています。子供達が目を輝かせ、イキイキと歩めるよう感染防止対策を施しながら、活力ある教育活動に取り組んでいきたいと考えています。

「未来を開く」

どのような心がけを持ち、どのような志を持つかによって、未来が変わる

この2年間、コロナウイルス感染症により、様々な活動が制限され、これまであたり前と思っていたことがあたり前でないことや自由に活動できることのありがたさに気づかされました。

人類の歴史を振り返ってみますと、疫病や災害、飢饉や戦争等により生活に困窮する時代が幾度もありました。困難な時代において先人達は、どのように乗り越えたのでしょうか。

日本の代表的な例として、江戸時代の飢饉や疫病の発生時、二宮尊徳は、藩のリーダーとして、「三福の心」を民衆に伝え、藩の復興を成し遂げました。後に二宮金次郎像として全国の学校に銅像が建ちました。

「三福の心」とは、「惜福」「分福」「植福」の心構えです。惜福は、質素倹約の心がけや今ある命や人々とのつながり、仕事や資源等に感謝し、智慧を働かせ工夫をこらすこと。分福とは、自分の良い運や才能、智慧や資源等を周りに分け与えること。植福とは、将来の人生や、未来の人々のために、智慧や体力を蓄えたり、付加価値を生むものに資源(人・物・金・情報)を投資したりすることです。

また、明治時代からの日本の発展や戦後の荒廃した時代において、本多静六の「自助努力(人生即努力、努力即幸福)」の心構えや考え方が人々の心を支え、鼓舞し、平和で発展的な時代の構築に貢献しました。

「自助努力」の心構えや考えとは、明治初期にイギリスから伝わり、福沢諭吉の「学問のすすめ」と同様に日本人を支えました。それは、依存体質や他力本願的ではなく、自らが明るい未来を描き、今、自分のできる努力を重ね、自分の成長や努力ができることに喜びと幸せを感じ、社会の発展繁栄につなげる考えです。

パンデミックや経済の不況、資本主義の混迷など、時代の過渡期である現代において、先人の智慧に学び、未来を開く心構えや志など、「心の力」を育てることが、子供達の「生きる力」を育成することにつながると考えます。

6年生による租税教室 2月3日(木)



講師の方が、身近な生活を例題に、税金の使われ方等をわかりやすく教えてくれました。

2・3月の行事予定

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 2月9日(水) 入学説明会 | 3月4日(金) 6年生を送る会 |
| 2月10日(木) クラブ活動(3年クラブ見学) | 3月17日(木) 卒業式 |
| 2月14日(月) 委員会紹介 | 3月24日(木) 終了式・離任式 |
| 2月15日(火) 佐那河内小と交流学習3年(zoom) | |

🌟【かがやき・きらめきフェスティバル 2月1日（火）】🌟

一年生
力をあわせて
～音読劇「大きなかぶ」～



一人の力は小さいけれど、みんなで力を合わせれば、何でもできる。元気に大きな声でできたよ（◇）



二年生
楽しかったよ
はっぴょう会



一年間の楽しかった思い出がいっぱい！ なかよし2年生、鍵盤ハーモニカの演奏や九九などもバッチリ凸

㊦



三年生
かえるはかせになろう！
～リフレミングで見方をかえよう～



カエル博士が見方を変えて、前向きに頑張れる力を与えてくれたよ。合唱も最高によかったよ ㊦



四年生
ひびけ 歌声
～音楽劇「ごんぎつね」～

役者揃いの4年生、みんなの歌声と劇が見事にマッチしてミュージカルのように物語が伝わってきた凸



五年生
心ひとつ！
これぞ5年の真年パワー



静から動へと表現がうつり、迫力のあるソーラン節で最高に盛り上がったよ！ 感動



六年生
歴史だよ！
～中野島小学校 歴史研究所～



時代の流れや先人の生き方が伝わった劇。最後は名曲カノンのメロディで6年生の心が1つになった♡

一人ひとりが輝き、クラスや学年の心が1つになったフェスティバル、信頼と自信という宝物を心に刻んで明日への一歩を踏み出そう！ 素晴らしい発表をありがとう ㊦㊦